

外国語科学習指導案

府中町立府中緑ヶ丘中学校

1 学年 第1学年5組(男子 21名, 女子 18名 合計 39名)

2 単元名 Program 2 アメリカからの転校生
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 (開隆堂)

3 単元について

○単元観

本単元は、アメリカから転校してきたマイクと同じクラスになった由紀のやり取りを通して、お互いのことについて知るという内容である。言語材料としては、be 動詞を用いた文が扱われており、自分のことについて伝えたり、相手にたずねたりするのに適した教材である。本単元は、中学校学習指導要領1目標(3)話すこと[やり取り]ア「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」を受けて設定したものである。また、本校の「CAN-DO リスト」の形で示した学習到達目標「話すこと[やり取り]」では、「身近なものや人、自分のことについて、簡単な語句や基礎的な表現を用いて会話を続けることができる」としている。

したがって、本単元を通して、相手の話す内容を繰り返して確認したり、相手に質問したりしながら、やり取りを続けたり、相手の質問に対して情報を付け加えて伝えたりできる力を養う。

○生徒観

本学年の生徒は、昨年度一年間、小中連携の一環として外国語活動の授業に携わってきた生徒である。小学校時の様子は、学校間で多少差があるが、多くの生徒が意欲的に学習に参加する姿が見られた。しかし、英語を使ったコミュニケーション活動においては、英語を使うことに慣れている生徒も多くいた半面、人間関係を作ることに課題があったり、人前で自分を表現することが苦手な生徒も多数おり、活動に対して意欲が持てず、参加が難しい生徒もいた。

生徒達は、小学校の外国語活動の中で毎時間、ジングルやチャンツ等、音を使った活動に取り組んでいた。そのため、英語特有の音や発音にもよく慣れており、各単元のキーフレーズ等も定着している生徒が多い。Small Talk については、学校間で差があり、また進め方にも違いがあったが、多くの生徒はリアクションをしながら話を続けたり、これまでに習った表現を入れて話をふくらませたりしながら、やり取りを行うことができていた。

中学校の授業では、ゲームや歌などの活動はほとんどの生徒が意欲的に参加しているが、ペアで会話をする活動になると、自分から話しかけることができない等消極的な面が多くみられ、生徒質問紙(2)の結果から分かるように、友達同士でコミュニケーションをとることが楽しめない、または自信が持てない生徒が多いことが伺える。

〈生徒質問紙〉

	質問内容	肯定的評価	否定的評価
(1)	小学校の時の外国語活動の学習は好きだった。	86.5%	13.5%
(2)	英語で会話をする活動は好きである。	73.0%	27.0%
(3)	英語で会話をする時、自分の考えや気持ち等を英語で話そうとしている。	85.2%	14.8%

○指導観

本単元では、「入部した部活動等，自分のことを伝え合おう。」という言語活動を行う。入部した部活動について互いにたずねたり，答えたりすることをきっかけに，お互いのことを詳しく知っていくことを目的としている。言語活動を通して，小学校外国語活動でも行ってきた，「相手の話す内容をくり返して確認すること」や「相手に質問すること」等を活用させ，対話を継続させると共に，新たに自分のことについてさらに情報を付け加えて伝えることで，さらに対話が継続することを実感させたい。

また，コミュニケーションをとることが苦手な生徒が多いため，やり取りの中で必ず伝えることをあらかじめ決めておくなどして定型として定着させ，誰でも自信を持って発話できるようにする。また，自信を持って英語を使って表現できるようにしていくために，生徒から実際に使える表現等を引き出し，それらのフレーズを提示していく。言語活動の中でそれらの表現を繰り返し活用させていくことで，定着を図る。

単元末のパフォーマンステストとして，ALT と自己紹介をし合うという課題を設定しており，本単元における言語活動においては次のような流れで指導をしていく。

- ・単元の始めに，本単元で行う言語活動及び単元末のパフォーマンステストについて伝え，本単元を実施する活動の目的をもたせる。
- ・Small Talk では，小学校の外国語活動で扱った身近なテーマを提示し，即興的にやり取りする場面を設定する。
- ・デモンストレーションさせ，工夫されていたことについて交流し，良さを学ばせる。
- ・Small Talk を行うごとに振り返りを行い，言いたい表現を整理して提示するなどして，表現の幅を広げさせる。
- ・活用できそうな表現を板書し，やり取りの手助けとする。

4 単元の目標

- ・間違いを恐れず，積極的にやり取りをする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・自分のことについて伝え合う。(外国語表現の能力)
- ・be 動詞を用いた文の構造を理解する。(言語・文化についての知識・理解)

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
間違いを恐れず，積極的にやり取りをしようとしている。	自分のことについて伝え合うことができる。		be 動詞を用いた文の構造を理解している。

6 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	入部した部活動を伝え合うことをきっかけに、お互いのことについてたずねたり、聞かれたことにさらに情報を付け加えるなどして答えたりする。
目指す発話例	<p>A: I'm in the baseball club. How about you ?</p> <p>B: I'm in the basketball club.</p> <p>A: Oh, you are in the basketball club. Sounds fun ! Why?</p> <p>B: Because I can play basketball well.</p> <p>A: Great ! Do you play basketball every day?</p> <p>B: Yes, I like basketball very much. I like LeBron James. He is very cool.</p> <p>A: I see. Are you a Hiroshima Dragonflies fan?</p> <p>B: Yes, I am.</p>

言語活動で扱う主な表現と語彙（下線は新出表現）

主な表現	主な語彙
<p>I'm in the (baseball) club.</p> <p>Do you (play) ~?</p> <p>I can (play) ~.</p> <p>Why? Because~.</p> <p>I like (LeBron James).</p> <p>[He / She] is my hero.</p> <p>[He / She] is [cool / nice / great].</p> <p>How about you?</p> <p><u>Are you ~ ?</u></p>	<p>部活動名（生徒の希望に沿って）</p> <p>状態・気持ち（cool, nice, great）</p> <p>動詞（like, play）</p>

7 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

【小学校における指導方法・教材を踏まえた（活用した）指導の具体】

（1）関連する言語材料

We Can! 1, 2	We Can! 1, 2 → 中学校	中学校
<p>〈We can! 2〉</p> <p>Unit 3</p> <p>He is famous. She is great.</p>	<p>主語が単数の肯定文 → 主語が単数の疑問文</p>	<p>SUNSHINE ENGLISH COURSE 1</p> <p>Program 2</p> <p>You are Yuki.</p> <p>Are you a baseball fan?</p>

（2）反応及びつなぎ言葉、相手の質問に新しい情報を加えて応答すること、相手に聞き返す。

Great! Nice! How about you?

8 単元計画（全4時間中/6時間目）

時	目標（◆）・主なやり取り等	評価規準・ 評価方法
1	<p>「自分のことについて伝え合う」という言語活動の見通しを持つ。</p> <p>・ We Can! 1, 2 で扱った単元や表現等について振り返る。</p>	
2	<p>◆自分のことを伝えたり、相手の話す内容を繰り返して確認しながら、会話をする。</p> <p>・教科書本文のやり取りから、I'm~, You're ~の用法を理解する。</p>	<p>ア（活動の観察）</p> <p>エ（ワークシート）</p>

	<p>A: Hello. I'm Sayama Yuki. B: I'm Ken Tanaka. A: Oh, you are Ken. Nice to meet you. B: Nice to meet you too.</p>	
3	<p>◆相手の話す内容に関連のある質問をして、会話をする。 ・小学校で学習した表現を使って質問していく。</p> <p>A: I'm in the baseball club. B: Sounds fun. I'm in the basketball club. A: Oh, you are in the basketball club. Do you play basketball every day? B: Yes, I like basketball very much.</p>	<p>ア（活動の観察） イ（後日パフォーマンステスト）</p>
4 本 時	<p>◆聞かれたことにさらに情報を付け加えるなどして、やり取りを続ける。 ・教科書本文のやり取りから、会話を続けるための工夫に気付く。</p> <p>A: I'm in the baseball club. How about you? B: I'm in the basketball club. A: Oh, you are in the basketball club. Sounds fun! Why? B: Because I can play basketball well. I like LeBron James. He is my hero. Who is your hero? A: I like Yanagita Yuki. He is great. He is my hero. B: I see.</p>	<p>ア（活動の観察） イ（後日パフォーマンステスト）</p>
5	<p>◆自分のことを伝えた後に、さらに質問をしてやり取りを続ける。 ・教科書本文のやり取りから、Are you ~?の用法を理解する。</p> <p>A: Do you like sports? B: Yes, I like baseball. How about you? A: I like baseball too. I'm a Carp fan. Are you a Carp fan too? B: Yes, I am.</p>	<p>ア（活動の観察） エ（ワークシート）</p>
6	<p>◆これまで使った表現を用いて、できるだけ詳しく自分のことを伝え合う。 ・小学校で学習した表現や新しく習った表現を用いて会話进行を続ける。</p> <p>A: I'm in the baseball club. How about you? B: I'm in the basketball club. A: Oh, you are in the basketball club. Sounds fun! Why? B: Because I can play basketball well. A: Great! Do you play basketball every day? B: Yes, I like basketball very much. I like LeBron James. He is very cool. A: I see. I like Yanagita Yuki. He is great. He is my hero. Are you a Hiroshima Dragonflies fan? B: Yes, I am.</p>	<p>ア（活動の観察） イ（後日パフォーマンステスト）</p>
後 日	<p>◆パフォーマンステスト 自分のことについて ALT とお互いに伝え合う。</p>	<p>イ（インタビューテスト）</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・お互いのことを詳しく知るために、自分のことについて伝え合う。

(2) 本時の評価規準

- ・間違いを恐れず、積極的にやり取りをしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・自分のことについて伝え合うことができる。(外国語の表現の能力)

(3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10	<p>○warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日, 日付, 天気, 時間を生徒同士で応答する。 <p>○Small talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことについて伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Hello. B: Hello. A: Can you play the piano? B: Yes, I can. A: Great! Do you like music? B: Yes. I love music.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションを入れながら, 会話を続けるよう声をかける。 ・小学校の時に行った活動を想起させる。 	
35	<p>○学習課題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Today's Goal: 入部した部活動等, 自分のことを伝え合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを確認する。 <p>○復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した表現を使って自分のことについて伝え合う。 ・相手に質問をして, さらに詳しくたずねる。 <p>○Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の質問に対して, さらに情報を付け加えて答える。 <ul style="list-style-type: none"> ・モデルペアのデモンストレーションを見て, 良かった点を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで使ってきた表現を生徒から引き出し, 黒板に掲示して確認する。 ・相手の発話に応じて質問していくことを確認する。 ・質問に答えるだけでなく, それに関連する情報をさらに付け加えて自分のことについて伝える。 ・良かった点を全体で共有することで, やり取りを続けることが難しい生徒への支援とする。 	<p>ア (活動の観察) イ (後日パフォーマンステスト)</p>

	・ペアを変えて、確認したことを新しく取り入れながら伝え合う。		
5	○まとめ ・振り返りカードに記入する。		

10 板書計画

<p>sunny, Thursday, April 25th, Today's Goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「入部した部活動等、自分のことについて伝え合おう」</p> </div>	<p>会話を続けるコツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返して確認する。 ・相手にもたずねる。 How about you? ・いいね！（反応する） Sounds fun! Great! ・他に聞いてみる。 Can you ~? Do you like ~? ・さらに詳しく付け加える。 I can ~ well. I like ~. I like ~, he is my hero. 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元目標</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> </div>
---	---	--

11 パフォーマンステスト評価規準

評価の観点	外国語表現の能力
A	<p>相手の話す内容をくり返して確認したり、相手から聞かれたことに対してさらに情報を付け加えるなどして自分のことについて伝えたり、さらに詳しくたずねるために、疑問詞を使ってたずねるなどして、会話を続けることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: I'm in the basketball club. How about you? B: I'm in the baseball club. A: Oh, you are in the baseball club. When do you play baseball? B: I play baseball every day. Do you like basketball? A: Yes, I practice basketball every day. I like LeBron James. He is cool. He is my hero. Who is your hero? B: I like Yanagita Yuki.</p> </div>
B	<p>相手の話す内容をくり返して確認したり、相手から聞かれたことに対してさらに情報を付けて答えたり、相手に質問するなどして、会話を続けることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: I'm in the basketball club. How about you? B: I'm in the baseball club. A: Oh, you are in the baseball club. Do you play baseball every day? B: Yes. I like baseball very much. Do you like basketball? A: Yes, I practice basketball every day. I like LeBron James. B: That's nice.</p> </div>
C	相手と自然な会話を続けることができていない。

	小5	小6	中1	中2	中3
話すこと 「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関する身近な話題について、簡単な語句を用いて、会話をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関する身近な話題や、自分や相手のことについて、簡単な語句や基礎的な表現を用いて、質問をしながら会話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものや人、自分のことについて、簡単な語句や基礎的な表現を用いて会話を続けることができる。 ・身近な話題について、簡単な語句や基礎的な表現を用いて、自分の考えや感想を伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことや自分のことについて、相手に質問をしたり、基礎的な表現を用いて会話を続けたりすることができる。 ・身近な話題について、基礎的な表現を用いて、即興的に自分の考えや感想を伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なテーマについて、相手に質問したり答えたりしながら、基礎的な表現を用いて会話を続けることができる。 ・社会的な話題について、基礎的な表現を用いて、即興的に自分の考えや理由を述べ合うことができる。